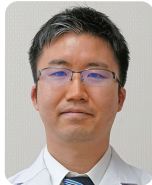


PET-CT検査について

今回は日本医学放射線学会放射線診断専門医の

横井敬弘先生に「PET-CT検査」について伺いました。



▲横井 敬弘 医師

済生会今治病院は、地域がん診療連携拠点病院として、2012年からPET-CT検査を導入し、今治市内で唯一PET-CT装置を持つ病院として地域医療を支えてきました。2025年に約13年間稼働した装置を更新し、11月から新装置が稼働しています。

PET-CTは、体や臓器の形を調べるCTと、細胞の活動（代謝）を調べるPETを組み合わせた検査です。がん細胞は正常な細胞より多くブドウ糖を取り込む性質があり、その特徴を利用して、ブドウ糖に目印となる放射性薬剤（FDG）をつけて注射し、全身にどのように集まるかを撮影します。

1回の検査で全身をチェックでき、がんの位置や大きさだけでなく、悪性度や広がりやを評価し、治療方針を決めるうえで大きな助けとなります。新しい装置では空間分解能（どれだけ小さいものを描出できるかを示す能力）が向上し、より小さながんも見つけやす

くくなりました。画像のざらつきが減り、輪郭もはつきりするため、とてもしやすい画像になっています。また、全身ダイナミック撮像を行うことで、腸の動きなどによる生理的な薬剤の集まりと、本当の病変を見分けやすくになりました。従来は確認のために追加撮影が必要で、検査時間が長くなりがちでしたが、新装置では追加撮影の時間が大幅に軽減された事で拘束時間も短縮され、患者さんの負担軽減につながっています。

新しい装置では空間分解能（どれだけ小さいものを描出できるかを示す能力）が向上し、より小さながんも見つけやすくなります。PET-CT検査を実施しております。

PET-CT装置によるがん検診にご興味があり、検査内容や費用、予約方法などの詳細についてお知りになりたい方は、当院健診センターまでお問い合わせください。



社会福祉法人

恩賜財団

済生会今治病院

0898-47-2500

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

